
大阪府政に関する公開質問状

2011年10月31日

社団法人 関西経済同友会

趣 旨

橋下徹大阪府知事が辞職願を提出し、大阪市長選挙への立候補を表明したことにより、大阪府知事選挙と大阪市長選挙の「ダブル選挙」が確定しました。

今回のダブル選挙は、大都市圏における広域行政のあり方を占う重要な選挙です。大阪をさらに発展させていくためにも、立候補予定者においては「大阪都構想」「府下版広域連合構想」などの枠組み論のみに終始せず、府民にとってのメリットは何か、同時に府民が受入れるべきコスト、負担は何であるのかを具体的に示した上での「政策」に関する議論が重要です。

大阪をどのように魅力ある地域としていくのか、そのビジョンを明確にし、経済成長、行財政改革、教育、地域づくり、住民サービスのあり方など、私たち、関西経済同友会が重要と考える課題について、立候補予定者は具体的な解決策と工程表とともに“これからの大阪のかたち”を明らかにして頂きたい、この公開質問状を作成いたしました。

是非ともご回答頂きますよう、お願いいたします。

質 問

1. ビジョン・全体戦略

大阪府は大きな節目に差し掛かっています。新たな知事が大阪府政を、どの方向に向かって進め、いつまでに、何をやろうとしているのかは、有権者、府民にとって重大な関心事です。まず、この点を明らかにして頂きたいと考えます。

【Q1】あなたは、大阪府をどのような地域にしたいですか。①将来のビジョン、②府政運営の理念と基本方針、③その中で最も力を入れたい施策と達成時期を示して下さい。

大阪府では府北部と府南部の間に医療、教育など生活面をはじめ、様々な格差がある、いわゆる「大阪の南北問題」があると言われることがあります。

【Q2】いわゆる「大阪の南北問題」に対するあなたの認識をお示し下さい。

2. 大阪市との関係

今回の選挙では、「大阪都構想」「府下版広域連合構想」など、“大阪のかたち”が重要な争点となっています。

【Q3】あなたは、大阪府と大阪市のあり方はどのようにあるべきとお考えですか。「現状のままでよし」とお考えであれば、その理由を示して下さい。
「改革する必要がある」とお考えであれば、①その理由、②具体的な改革の内容、そして、③府民が受けるメリットと負担について示して下さい。

これまで大阪では府・市それぞれが住民ニーズに応えようとバラバラに業務を手がけてきたなどの結果、重複・類似業務を多く抱えています。二重行政の解消や連携強化の動きは見られますが、未だ十分な成果を挙げるには至っておらず、当会は、大阪府と大阪市の水道事業や住宅事業、中小企業信用保証事業は一本化が必要と考えています。

【Q4】あなたは、①大阪市との二重行政の解消について、どのような計画をお持ちですか。②また、水道事業をはじめとする類似・重複・同一業務の府市連携についての計画も示して下さい。

3. 広域自治体のあり方

大阪が世界的な都市間・地域間競争に伍して今後とも発展していくためには、京都、兵庫、奈良、和歌山などの近隣府県をも巻き込んだ戦略は不可欠であり、道州制への移行は、関西として一体的な戦略の立案・実行ができるという意味でもメリットは大きいと当会は考えます。

【Q5】道州制についてのあなたの基本姿勢を示して下さい。

道州制に賛成であれば、①今後の道州制への移行の道筋とその中での「関西広域連合」の位置づけについて、②京都、兵庫、奈良、和歌山などの近隣府県に対する期待・要望を示して下さい。

道州制に賛成でなければ、その理由をお答え下さい。

4. さらなる行財政改革

大阪府の財政は、平成20年度に策定した財政再建プログラム案に即し、すべての事務事業、出資法人、公の施設に対するゼロベースでの総点検・見直しや全職員の人件費カットなどの取組みなどにより、平成20年度2月補正予算においては、平成9年度以来11年ぶりに単年度赤字が解消されました。

しかしながら、世界的な金融危機の影響などから、税収は減少しており、さらなる行財政改革は不可欠です。

【Q6】あなたは、大阪府の財政状況をどのように認識していますか。今後の財政再建の取り組みについて具体的な目標・内容と工程表を示して下さい。

【Q7】行財政改革には職員の協力が不可欠です。①あなたは「職員基本条例案」をどのように評価し、②今後はどのように府職員と向き合っていきますか。

5. 成長戦略・産業振興戦略

グローバルな視点から見れば、国家間はもとより、都市レベルでの競争が激化しています。アジアにおいても釜山、上海、香港、シンガポールなど、競争相手には事欠かない情勢です。

【Q8】あなたは、これからの大阪府は何を核に成長していくべきとお考えですか。大阪府の成長戦略と成長のエンジンとなる産業の振興政策を示して下さい。

2012年4月1日に関西国際空港と大阪国際空港（伊丹空港）の新たな運営会社（新関西国際空港株式会社）が誕生し、7月1日に両空港は経営統合されます。

【Q9】あなたは、関西国際空港と大阪国際空港を大阪発展のためにどのように活用したいと考えますか。

府下の企業には超過課税が課せられていますが、世界的な税制の権衡（けんこう）確保の観点から問題が大きいと言わざるを得ません。税金は現在立地している企業から重く取り立てるのではなく、新規の企業誘致や産業振興を通じて確保していくものであると当会は考えます。

【Q10】あなたは、企業への超過課税を廃止するつもりはありますか。イエスであればその時期と理由を、ノーであればその理由を示して下さい。

大阪府は、電力、ガス等エネルギーの大消費地であり、エネルギーの大半は府域外から供給されています。産業振興の観点からは、エネルギーの安定供給は不可欠であり、同時に、都市環境問題、地球環境問題への対応という観点から、省エネ、新エネルギーの利活用促進も重要であると当会は考えます。

【Q11】東日本大震災での原子力発電所事故を機に、我が国のエネルギー政策のあり方が問われています。エネルギーの大消費地としての大阪府という観点を踏まえ、エネルギーの安定供給、省エネルギー・新エネルギーの普及促進など、大阪府が取り組むべきことをお示し下さい。

7. 防 災

東日本大震災は、「想定外」の事態は起こりうる、という事実を我々に突きつけました。今後、必ず発生すると言われている東海・東南海・南海地震等に備え、防災、減災対策は大阪の喫緊の課題です。

【Q12】あなたが、東日本大震災を通じて得た教訓は何であり、それを踏まえた大阪府の防災対策・減災対策で早急に改善すべき点、強化すべき点、新たに取り組むべき点とそれらの達成時期についてお示し下さい。

8. 教 育

「人が資源」の日本において、次世代の社会・経済の担い手を育成することは、非常に重要な政策分野であると当会は考えます。

【Q13】 ①大阪府の教育の現状について満足していますか。②満足していればその理由を、不満であれば、どのような点をどのように改革しますか。③子どもの郷土愛、愛国心の涵養方策、そして学力向上方策を具体的に述べて下さい。

【Q14】 あなたは、「大阪府教育基本条例案」をどのように評価しますか。

質問は以上です。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本質問状に対しご回答を頂けましたら幸甚です。

なお、本公開質問状、ならびにご回答につきましては、当会ホームページにて公表させていただきます。(※)

※前回の大阪府知事選挙の際の公開質問状、立候補予定者からのご回答の公表状況については、次のURLをご参照下さい。

<http://www.kansaidoyukai.or.jp/tabid/71/Default.aspx>